

# じみんと まがじん

produced by  
自民党青年局  
vol.2 June 2024

それ、  
気になる。



政策パンフレット

編集長:天野俊吉 アートディレクター:まちだみわ  
タイトルデザイン:ナイトロ デザイナー:木村ちひろ DTP:榎本美香  
クリエイティブディレクター:三浦崇宏  
ビジネスプロデューサー:大長敬典 コピーライター:奥山光子  
(The Breakthrough Company GO)



## Contents

- 04 「正直、気になる」インタビュー  
鈴木貴子
- 10 JIMIN ROCK '24  
どうする!? 物価高
- 16 政治家が学ぶ  
〇〇ってなんすか会議  
「サービス普及のコツ」ってなんすか  
小澤隆生×国光あやの
- 21 「争いを止める」ってなんすか  
高木三四郎×藤井一博
- 26 それ、気になる。  
素朴な疑問をききました

## Cover

Illustration: 世戸ヒロアキ (vision track)  
2018年のデビュー直後から、そのミニマルかつユニークなタッチに魅了された企業より数々のオファーを受ける。今回のテーマは「生活」



政治家への率直な疑問を次々とぶつけてみたり。  
みんなで一緒にづくりあげる、  
そんな、今までになかった政治についてのマガジンです。  
さあ、今日から。ここから。  
わたしたちの政治と未来について、一緒に考えていきませんか？

自民党青年局

令和6年6月13日発行  
本誌で掲載された情報はすべて2024年5月29日現在のものです。情報内容は変更される可能性がございますので、ご了承ください。本誌記事の無断転載を固く禁じます  
©自由民主党

日本の政治家の平均年齢56歳。  
日本の経営者の平均年齢62歳。

超高齢社会のこの国では、  
リーダーが高齢なのも自然な形なのかもしれない。  
でも、未来の当事者は若者だから。  
若い世代が、考えて、踏ん張って、懸命に動いたら、  
この国はおのずと良くなっていくと思うんです。

自民党青年局は、日本のあらゆる現場をちよつとでも明るくするために、  
リーダーの若返り、始めます。

これからのこと、政治のこと、  
わたしたち若い世代で考えていきたいから。  
本誌はその第一歩目となるべく生まれました。

最前線にいる現場の専門家に政治家が学ばせてもらったり、  
今の政治状況を「音楽フェス」になぞらえてみたり、

# じみんと一 まがじん

produced by 自民党青年局  
政策パンフレット

Vol.2 | June 2024

——自民党全体に対して、厳しい目が注がれています。鈴木貴子「新」青年局長が、どのような想いを持っているのかお聞きしたいです。

鈴木 おっしゃる通り、自民党そして青年局に対して、厳しいご批判をいただいています。全国を回るなかでそのことを強く感じますし、自民党議員として、青年局長として、大変申し訳なく思っています。

ただ、下を向いてばかりもいられない。前を向いて、「新しい自民党を私たち世代が創るんだ」という気概で活動したいと思っています。

——批判の多い「派閥」についてはどう考えますか？

鈴木 「派閥を解消するべきだ」という声も多く聞きますが、私は、「派閥解消」って目くらましのようなものだと思っています。

——なぜですか？

鈴木 たしかに、派閥のあり方に問題がなかったわけではない。だからこそ議論を重ね、派閥から「人事とお金」を切り離す決断をしました。

一方で、新人議員へのノウハウ伝授など「派閥のメリット」もある。

私は、民主主義ってなんだと考えると「51・49の世界」だと思うんです。ある意見に賛同する仲間をつ

つて、相手より少しも多い「数」をつ

つくり出す。それが派閥というグループとなる…。つまり、民主主義の基本は派閥なんじゃないか、と。

にもかかわらず、批判除けのためだけに「派閥を解消します」というのは意味がない。弊害を取り除いたうえで、派閥の意義を理解していただくことが重要だと思っています。

——「世襲議員が多い」という批判もありますよね。世襲と派閥のブラックボックス感が、裏金をつくる温床になっているという…。

鈴木 まず、世襲と裏金問題は関係ありません。世襲でも今回の問題に関与していない議員はたくさんいますし、世襲じゃなくても、残念ながら政治資金を適切に処理していなかった議員もいます。

そのうえで、世襲には良い面も悪

## 巻頭 SPECIAL

Text by Shunkichi Amano  
Photos by Masaki Fujimura

気になる新局長・鈴木貴子に、  
気になることききました

# 「正直、気になる」 インタビュー

2023年末からいろいろあった、自民党そして自民党青年局。新たに局長となった鈴木貴子氏は、この逆風をどう乗り超えるのか？  
気になることだらけの新局長に、  
気になることをガンガンぶつけてみました。



すずき・たかこ  
北海道帯広市生まれ。2012年、第46回衆院総選挙に初出馬するも次点。翌年6月、繰り上がりで初当選。安倍内閣で防衛大臣政務官、岸田内閣にて外務副大臣を務める。2024年3月からは第55代自民党青年局長に就任。夫は同じ小学校に通っていた一つ上の先輩。現在2児の母

TAKAKO SUZUKI



い面もあると思つてます。悪い面は、「本人の能力で選ばれていない」「地盤・看板・カバンの面で下駄を履かせてもらっている」というもの。世襲議員一人ひとりが努力を重ね、ご批判を乗り越えるしかない。

——逆に、良い面は何ですか？

鈴木 親の姿を見てきたがゆえの覚悟だと思います。たとえば私は、国会議員だった父の苦勞を見てきたので、政治家には絶対なりたくないと思つてきました。同時に、国や故郷を思つて、年中無休で働いている父の背中を見てきたからこそ、「父を超える」という志と覚悟がなければ、政治に携わるべきではないとも。

私が覚悟を決めて、はじめて選挙に出たとき。マスコミの皆さんからの質問の8割が「世襲」についてだったんですよ。「鈴木宗男先生は世襲に反対でしたよね」とか。寂しかったですね。「鈴木貴子を見てほしい」と思いました(笑)。

でも、「そのためには仕事で結果を出さなくては」と覚悟を新たに

たのを覚えています。

——では、世襲じゃない議員を増やすにはどうすれば？

鈴木 普通感覚を持った人が政治の世界に入って来やすい環境をつくる必要があると思います。外務副大臣をやっていたときに、ウクライナの件(※駐日ウクライナ大使の林外相(当時)との面会を、ロシア外交に長年携わってきた父・鈴木宗男の影響を受けて、鈴木貴子が妨害していたのではという誤った報道がなされたので、週刊誌にバッシングされて…)。

そのとき、世襲を生んでる要因は「これ」だと思つたんです。

——どういうことですか？

鈴木 とんでもない誤報やバッシングや、SNSでの罵詈雑言がある。正当な政策論争から逃げるつもりはありません。しかし、誤った報道や人を貶める言葉が見過ごされている現状もあつて。

我々世襲議員は、自分の親がそうした経験をしているからか、耐性ができている。それで、ツツラの皮の厚い人間だけが政治家になつてしま

## 「我々は何がしたいんだ」という理想を語るべきだと思ってるんです。

世の中”になつてるんじゃないか、と思います。

多様性を求めるためには、一部の耐性がある人だけじゃなく、誰もが政治家になりたいと思う環境をつくらないといけないですよ。

——青年局でも「過激ダンサーを呼んだ懇親会」というスキャンダルがありましたよね。和歌山県連青年局がダンサーを呼んだ理由に「多様性」を挙げていましたが…。

鈴木 あれは、間違いなく多様性ではありません。一議員の発言ですが、それが、自民党青年局全体の発言と受け取られてしまうということに議員一人ひとりが自覚して、発言しなければ…。

——そんななかで新局長に就任されましたが、まず青年局のメンバーに

どんなメッセージを？

鈴木 『懇親会をやめます』とは言いません！」って。

——それは…ジョークで？

鈴木 いや本気ですよ。懇親会をやめつつてカンタン。でも、懇親会やお酒が悪いわけじゃないですよ。表面上の話に引張られたらダメだと思つんですよ。

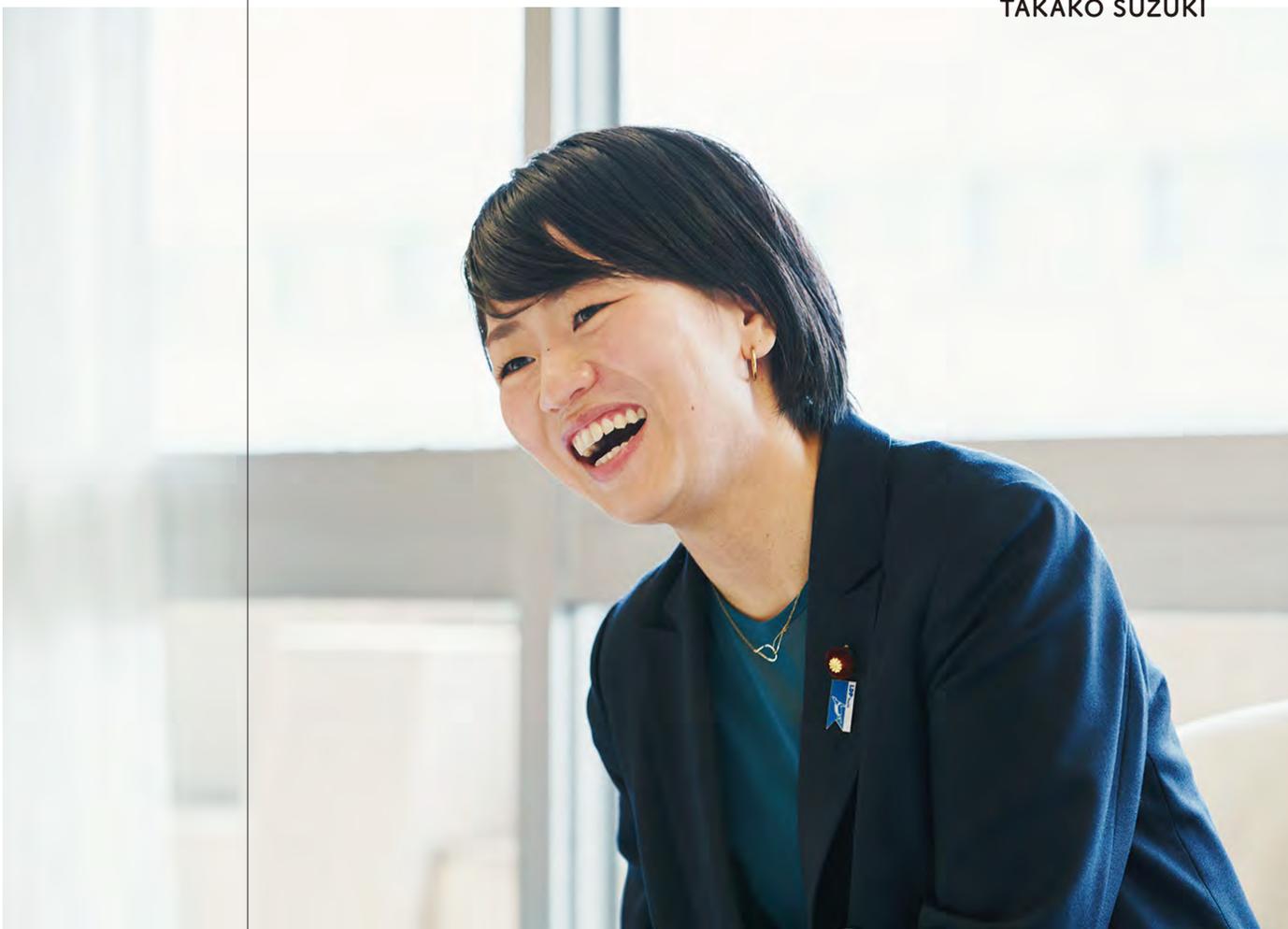
表面的な解決方法に逃げるのではなく「我々は何がしたいんだ」という理想や本質を語るべきだと。信賴回復は、その先にしかない。

——派閥の問題と同じく、「批判除け」に逃げない？

鈴木 その通りです。

——女性の青年局長は2人目です。何か意識することはありますか？

鈴木 女性ということ意識するこ



とはありません。私がニブいだけかもしれませんけど（笑）。

とはいえ、せっかくなので、各都道府県連の青年局・青年部にも女性を積極的に増やしていく、リクルーティングをしていきたいと思っています。

議員はいまだに家事や育児をすることが想定されていないんですよ。女性議員がこれまでのような働き方をしなくてすむよう、議員の働き方を見直すことができれば一番いい。

——青年局は、地方のメンバーも含めて、大所帯です。まとめていくのは大変じゃないですか？

鈴木 大変（笑）！ 自民党ほど多様な考えを持つ集団はいません。それぞれが地域の代表である、つわもの集団です。

だからこそ、風通しのよさ、情報共有、コミュニケーションを通じた相互信頼・尊重を大切にしたい。

青年局メンバーの「上に立つ」のではなく、「先頭に立つ」イメージで、多少アザができて「うねうね道を真っすぐ走ってきた証だ！」と言

く。災害が発生したら、ガレキの重さを肌身で感じながらできることをするとか…。

あんな不祥事があって、「お前らが何を言っても」って雰囲気もあると思います。だからこそ、愚直に行動していきます。我々は「未完成」。未完成なところを愛でてもらいたい（笑）。皆さんの手となり足となり、ときには戦うこぶしにもなれる。使ってください。

それこそ、我々を支持してない人にも使ってもらいたい。それが、政権与党の矜持だと思ってます。

——最後に、休みには何をして過ごされていますか？

鈴木 まとまった休みがあんまり取れないので、早く帰れる日は早めに夜ご飯を食べて、子供たちと散歩かな。歩きながら「今日は何したの？」とたわいもない話をしながら家の近くのコーヒーストップに行ったり。

でも、家族との時間が全然取れない…。もうちょっと子供と一緒にいる時間もつくらなきゃダメですね。



休みがあれば、子供たちと散歩。  
でも、もうちょっと家族と  
一緒にいる時間もつくらなきゃ。

切れる、愚直な活動をするリーダーでありたいと思っています。

——では、具体的な政策については青年局内ではどういうお話をしているのでしょうか？

鈴木 国会会期中は隔週で全国の仲間とオンラインを活用した「青年局定例会議」で、審議中の法案を取り上げたり、「フードロス対策」など全国で進めたいテーマについて共有します。自民党が誇る全国津々浦々のネットワークを生かし、全国一斉議会質問などにもつながっています。

一方で、青年局に求められているのは「行動」です。頭でっかちな議論のための議論に終始することは避けたい。私たちの強みである「行動量」を最大限に生かしたいです。仲間が戦っているときには応援に行

TAKAKO SUZUKI



## D 一人ひとりが スキルをつける ステージ



友納理緒



岸信千世



山口 晋

## C 適正な価格にしよう ステージ



鈴木貴子



吉田真次



高見康裕

## B 円安なんとかする ステージ



川崎ひでと



英利アルフィヤ



金子容三



藤井一博



山本左近



越智俊之

## A 給付を充実させる ステージ



# JIMIN ROCK'24 どうする!? 物価高

Text by Shunkichi Amano  
Illustration by akane

## 音

楽に政治を持ち込むこともあるけど、いやいや、政治こそがロックなのかもしれない。なぜなら、ロックフェスのようにさまざまな主張があり、ステージごとにそれぞれの主張を大声でかき鳴らしている(?)から。

最近の世の中の気になる動きといえば「物価高」。スーパーで買う日用品まで値段が上がっていて、正直しんどい。しかし、物価高は必ずしも悪いことじゃなく、**景気が上向いていく良いサイクルに入る可能性もある**というから話はややこしい。

自民党青年局でも、どう対応するかという議論がされていて、**大きく四つの主張があるらしい**。給付金がもらえるなら一

番うれしい気がする「**給付を充実させるステージ**」や、よく話題になっている円安が原因だとする「**円安なんとかするステージ**」。さらに、そもそも僕らのマインドに原因があるんじゃないか……という「**適正な価格にしようステージ**」から、働き手自らが賃上げを求めようとするべきだという「**一人ひとりがスキルをつけるステージ**」まで、各ステージで、人気アーティストならぬ若手政治家たちが、印象的なアクトを繰り広げているよう。

## キ

ミは、どのアーティストのどの主張が一番心を動かされるか? ステージからステージへ渡り歩き、シャウトに耳を傾けてみよう! (ゴミはポイ捨てせず、クリーンステージオンへ!)

**B**

## 円安なんとかする ステージ

「円安是正派」が爆音を響かせるのがこちら。  
物価高の一因は円安であり、  
財務省がドルをいっぱい売って円を買う「為替介入」や  
日銀が金利水準を見直す「利上げ」によって  
それを解決しようとするハードロックなノリだ。  
ただし、やりすぎると、住宅ローンの金利が上がったり、  
銀行からお金を借りている企業が苦しんだりするかも…?



川崎ひでと

資源に乏しい日本は、エネルギーなどの原材料の多くを海外に依存しているため、円安を是正することで、物価が安定。同時に、日本の高い技術力が正当に評価され、価格に転嫁もされるべき。

かわさき・ひでと 大学卒業後にNTTドコモ勤務。2021年、第49回衆院総選挙で初当選。2023年、自民党情報通信インフラ特命チームの事務局長に就任。ライブ配信アプリ「SHOW ROOM」での発信なども

優先順位 1位◎ / 2位ⓑ / 3位Ⓓ / 4位Ⓐ



金子容三

物価高の要因は円安によるものが大きいので、ここを解消するのが重要。「給付」は短期的な施策としてはありえるが、あくまで応急措置。円安を是正するためには、金利が上昇し、海外との金利差を縮めていかなければいけない!

かねこ・ようそう 長崎県出身。2005年、SMBCH興証券に入社。2023年にTOKYO自民党政経塾を修了し、自由民主党長崎県第3選挙区支部長に。衆院長崎4区補選にて初当選

優先順位 1位ⓑ / 2位Ⓐ / 3位Ⓒ / 4位Ⓓ



英利アルフィヤ

すべて重要な対策だけど…。選挙区に住み、地元の皆さんのお話をお伺いするなかで、輸入品・輸出品の価格に直結する円安の是正を試みることで、中小企業や各種産業において、物価の上昇に見合う賃金アップや人への投資が可能となると感じています。

えり・あるふいや 福岡県出身。両親はウイグル出身でトルコ系(ウイグルとウズベク)。日本銀行、国連での勤務を経て、2023年、衆院千葉5区補選で初当選

優先順位 1位◎ / 2位ⓑ / 3位Ⓐ / 4位Ⓓ

**A**

## 給付を充実させる ステージ

一つめのステージはこちら。  
最近話題の「給付・減税」は、直接支出で、物価高に  
苦しんでいるオーディエンス(国民)に届くわけで、やっぱりありがたい。  
さらに、「低所得者層」「ひとり親世帯」……など、  
減税や給付をする対象をきめこまやかに決めることができるのも  
ぶちアがるポイント。単発だと効果が薄いので、  
2〜3年にわたって継続することが必要かも?



藤井一博

現下の急激な物価高進行の局面において、まずは、国民の皆さんの生活を支えるために、即効性のある政策だと考えます。

ふじい・かずひろ 鳥取県出身。鳥取大学医学部を卒業後、神奈川県内の病院で消化器外科医として勤務。2015年、鳥取県議選に立候補し、初当選。2022年、第26回参院選に当選

優先順位 1位Ⓓ / 2位Ⓐ / 3位Ⓒ / 4位ⓑ



山本左近

適正なインフレは、経済が健全に成長している証拠であり、決して悪いことではない。そのためには、価格転嫁がもっとも重要。次に、それを後押しするため、直接給付も重要。

やまもと・さこん 元レーシングドライバーで、F1ドライバーとしても活動。2019年、第25回参院選に立候補。2021年、第49回衆院総選挙に比例東海ブロックから立候補。初当選

優先順位 1位◎ / 2位Ⓐ / 3位Ⓓ / 4位ⓑ



越智俊之

いま現在が苦しい人には、即効性のある減税や給付、エネルギーや食糧への激変緩和対策(補助金)を行うことも重要です。

おち・としゆき 2001年、三興建設株式会社に入社。同社の台湾事業所の総経理をつとめる。2010年、三興建設株式会社専務取締役就任。2021年、株式会社ご安航代表取締役就任。2022年、第26回参院選で初当選

優先順位 1位◎ / 2位Ⓐ / 3位Ⓓ / 4位ⓑ

D

## 一人ひとりがスキルをつける ステージ

「リスキング(学び直し)」という言葉がトレンドだ。  
働き手が時代に合わせて新しいスキルを学ばなきゃいけないよね、  
という話だが、それを推奨して  
パートウザピーポーしていこうとする主張。  
「賃上げ」を政府が企業にお願いするだけでなく、  
我々働く側が、スキルアップを通じて、  
企業に賃上げを要求していこうという話で、ある意味パンク。



友納理緒

労働市場の流動化は賃上げにつながり、持続的に人に投資すれば経済を成長させる要因になる。個人消費につながるぐらいの賃上げが行われれば、労働意欲は変わる。リスキングで労働者の価値を高めることは人手不足解消にもつながる!

ともものうりお 東京都生まれ。2003年、東京医科歯科大学を卒業し、看護師、保健師の免許取得。2010年に司法試験に合格。2022年、第26回参院選比例代表にて初当選

優先順位 1位C / 2位D / 3位A / 4位B



岸信千世

人や企業への投資を促し、“稼げる日本社会をつくる”ことで、デフレマインドからの回復を図る!

きしのぶちよ 山口県をルーツに持ち、曾祖父に岸信介氏、安倍晋三氏を伯父に持つ。2023年、衆院山口2区補選で初当選。平成生まれの議員としては3人目。現在自民党で最年少

優先順位 1位C / 2位D / 3位A / 4位B



山口晋

年功序列、終身雇用が崩れた日本の雇用環境のなかで、「一人ひとりがスキルをつける」を重視する選択をしました。

やまぐち・すすむ 埼玉県出身。2011年、東京ガス入社。シンガポールに滞在。2018年から、菅義偉衆議院議員事務所。内閣官房長官秘書官に。2021年、第49回衆院総選挙で初当選

優先順位 1位C / 2位D / 3位A / 4位B

C

## 適正な価格にしよう ステージ

後者の2ステージは、我々のマインドにメロウに訴えかけてくる。  
日本ではラーメンが1000円以下で食べられるが、  
アメリカに行けば3000円する。  
つまり、「良いものにはお金を払う」のを当たり前にして、  
物価上昇の果実を皆で分け合おうという主張だ。  
大企業が下請けに発注する際に、買い叩かずに適正価格で  
発注するよう政府が指導するというが、実効性に疑問も…。



鈴木貴子

商品やサービスへの対価の適正評価は健全な市場、経済活動の基盤。下請け事業者との共存共栄が、結果的に企業価値の向上にもつながる。

すずき・たかこ 北海道帯広市生まれ。2012年、第46回衆院総選挙に挑戦するも次点。翌年6月に初当選。安倍内閣では防衛大臣政務官、岸田内閣にて外務副大臣を務める。2024年3月からは第55代自民党青年局長に就任

優先順位 1位C / 2位D / 3位B / 4位A



高見康裕

地方の発展なくして国の発展はありません。地方の企業の99.9%を占める中小企業が適正な価格転嫁ができて、はじめて物価高を克服することができる!

たかみ・やすひろ 島根県出身。読売新聞東京本社勤務の後、海上自衛官、学習塾教室長をつとめる。2015年、島根県議選に無所属で立候補し、初当選。2020年、自由民主党に入党

優先順位 1位C / 2位D / 3位B / 4位A



吉田真次

人への投資を行って優秀な人材を育て、そこから生み出される財やサービスには、それ相応の価値があるという考え方を当たり前にしていく必要がある。

よしだ・しんじ 2011年、下関市議選に初当選。2023年、元内閣総理大臣の安倍晋三氏の選挙区である衆院山口4区から出馬。当選

優先順位 1位C / 2位D / 3位A / 4位B



# 〇〇って なんすか 政治家が学ぶ 会議

Seijika ga Manabu  
MaruMaru te  
Nansuka Kaigi

政治家が“上から”市民に語るばかりで本当にいいんでしょうか？政治家自らが、さまざまなジャンルの専門家にピュアな気持ちで「なんすか？」と学びに行くのが「〇〇ってなんすか会議」。今回は「ITサービスのプロに、マイナンバー制度普及について学ぶ」「プロレスラーに“戦い／争い”について学ぶ」の二本立てでお届けします！



話す人

小澤隆生

おざわ・たかお

起業などを経て2012年にヤフー入社。eコマース、トラベル事業、金融事業などを管轄。2023年にはLINEヤフー株式会社顧問就任。2024年、ベンチャーキャピタル運営会社BoostCapital株式会社を設立し、代表取締役



学ぶ人

国光あやの

くにみつ・あやの

長崎大学医学部卒。医学博士（東京医科歯科大学大学院）。病院勤務を経て、2017年、第48回衆院総選挙で当選（茨城6区）。2期目。地元茨城で高校生の子育て中。現役内科医として診療も

## 「サービス普及のコツ」ってなんすか PayPayを普及させた ネットワーク効果とは？

Text by Shunkichi Amano Photos by Masaki Fujimura

国光 私は、医療現場にいた立場からも「マイナンバー制度/マイナンバー保険証」の普及に携わっていて、マイナンバーカード自体は普及率7割を超えているんですが、マイナ保険証が5%にとどまっているんですよ。今日はPayPayをお手本に「サービス普及」のキモをおうかがいしたくて…。

小澤 なるほど。ざつくばらんに喋るようにします(笑)。

国光 我々も、黒柳徹子さん、館ひろしさん、松坂大輔さんが登場するCMをやったりとか…。かなりの予算を投じていろいろやりました。みんながだいたい持っているという世界をつくりたいと思ってるんですが。

小澤 いや、マイナンバーカードが7割の普及率というのはすごいと思いますけどね。paypayを例にとってお話しさせてもらおうと、まずひとつは「便利の設計」。どれぐらいの利便性を、どれぐら

味わってもらおうかということなんです。PayPayって、決済ツールなので、毎日使うんですね。で、「お釣りのやりとりがない」「財布に小銭が増えていかない」という便利さを毎日味わえる。

データでは、1カ月に5回ぐらいこの便利さを味わっていただければ、ユーザーになってもらえることがわかったんです。

国光 たしかに、数えたら私も今日だけで3回使ってみました。

小澤 「保険証」ってそうではないと思うんです。誰もが、1カ月に何回も使うわけではない。そのあたりの「便利の設計」をどれぐらい大胆にやれるかですね。行政の手続きが5分の1になるとかね。たとえばETCとか、「ETCを使っていけば専用のレーンに進める」って、目で見ても極めてわかりやすいですね。

そして、「便利の設計」でベースの母数を増やすと同時に…重要に

### 「1カ月に5回“便利”を味わってもらう」 その設計をどうつくるか？



なるのが「ネットワーク効果」です。国光 ネットワーク効果……。

小澤 要は「人が人を呼ぶ」というか。たとえば「割り勘」とか精算。飲み会のあと、PayPayで割り勘しようとなると、1人だけ使っていると、すごく不便になってしまふ。LINEだって、そうで、1人じゃ使えないけど、みんなが使っていれば波及的に広

がる。インターネット業界では、サービス普及の鉄則です。

国光 なるほど。若い世代だとそれでもいいと思うんですが、お年寄りを含めた全世代に広げるとなると難しくはないですか？

小澤 「家族」のネットワーク効果が相当強いんですよ。ミクシイがやっている「みてね」という家族間の写真共有サービスがあるんで

### What is "Popularize the Service"?

もう一歩踏み込んで言うなら、そのネットワーク効果のなかにいる人のインセンティブを一致させることですね。つまり、子どもから見たら親に持っているほしい、親から見たら子どもに持っているほしい、という状態にする。

健康保険証であれば…もちろんオンラインサービスとかいろいろな問題もあると思うんですが、「遠く離れた家族と、健康状態が共有できる」とかなってくと面白いのかなと。

国光 やっぱ現状は「行政と、





0027 政治家が学ぶ  
Seijika ga Manabu  
MaruMaru to  
Nananka Kajo

「争いを止める」ってほんすか

# 「行動力と発信を増やすことです」

Text by Shunkichi Amano Photos by Masaki Fujimura



話す人

高木三四郎



学ぶ人

藤井一博

たかぎ・さんしろう

大阪府出身。1997年に「DDTプロレスリング」の旗揚げに参画。2006年には社長に就任。2020年には株式会社CyberFight（サイバーファイト）設立時の代表取締役社長に。2024年には副社長に就任

ふじい・かずひろ

鳥取県出身。鳥取大学医学部卒業。消化器外科医。鳥取県議会議員を経て2022年、第26回参院選に初当選。『キン肉マン』全盛世代でウォーズマン推し

あなた」という内向きの設計思想なんで、ガチガチに堅くつくってはいらんでですけど、ネットワーク効果という意味で、できることを模索すべきではあるのかもしれない…。

小澤 もちろん、前提の設計思想が違ふとは思いますがね。

国光 行政でも、マイナンバーカードの普及のために、1人あたり2万円分のポイントを還元したんです。御社でも、ポイント還元はかなりされてたと思うんですが、どういふふう設計されてたんですか？

小澤 これは掛け算ですね。PayPay自体を10億円使ってPRすると、「100億円（ポイント還元で）あげます」っていうことを10億円使ってPRするのだと、後者のほうがずっと効果がいいわけです。

アピールするネタをつくることと、



広告予算の掛け算ってことです。国光 なるほど…。行政あるあるで、「今年は2億円予算をかけたから、次は5億円までいこう」と、どんだんお金をかけて、タレントを起用して…という発想が多いんですが、そういう問題ではなさそうですね…。

小澤 はい。1人ユーザーを獲得

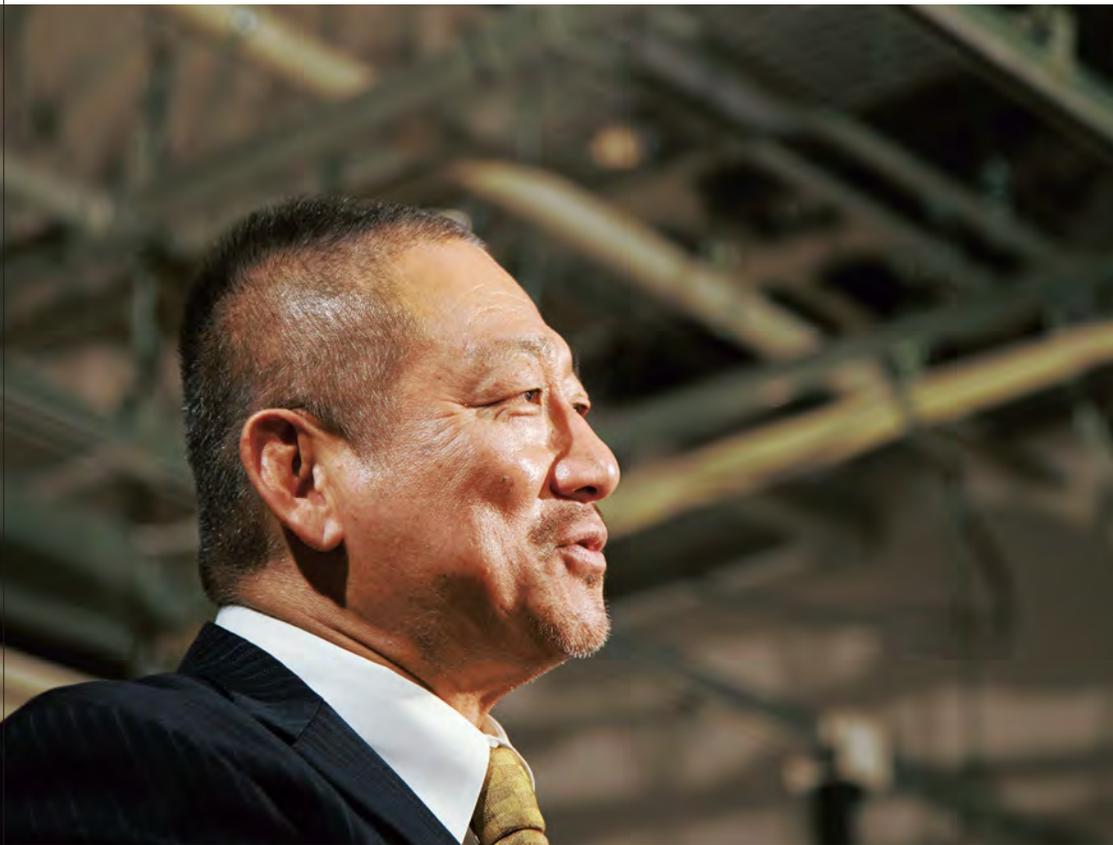


「税金を使ってるんだから、スペシャリストでやってほしい(笑)」

するために、去年と同じことをアピールしていたら、必ず効果が下がってくるわけです。今まで1人あたり500円でユーザーが増えていたのが、1000円になってくる。そのときに、どうネタを変えてアピールするんだと。これはタレントの問題じゃないですよ。代理店さんがそこに入って、うまく提案してくれるんですけど、彼らからすると、一番は「予算がほしい」だからね。国の場合、どういふ部署で広告費をコントロールしてマーケティングしているのかわかりませんが…。

国光 いや、(そういう部署は)ないですね。

小澤 僕らは最終的に収益を生み出さなければいけないので、そういったところも大変。国も、税金を使っているんだから、バシッとスペシャリストの集団をつくってやってほしいですね。



世界的にバズってるのがウガンダのプロレス。  
国と国のボーダーを超えてるんです。

超える効果はあるんじゃないかな。  
藤井 なるほど…。たしかに議員も、積極的に海外に行くというのは、一部の人ができていないかもしれません。  
高木 そういうときは、「SNS」かなと思うんです。  
DDTプロレスリングに、「ゴージャス松野」っていう「お騒がせ」な人がいる（かつて元妻・女優の沢田亜矢子との離婚騒動が話題に。ホストなどを経てプロレスに転身した）んですけど、もう60代ですし、痩せててビジュアルが面白いんですよ。  
で、ゴージャス松野さんがTikTokに自分のプロレス動画を上げたんですよ。  
それが、3300万回再生されてるんです。1000万回ぐらい回ったとき「これ、誰が見てるんだ？」と調べたら、一番再生されている国はアメリカで、三番目がウクライナだったんですよ。  
藤井 ウクライナはかなり意外で

高木 自分、じつは政治との関わりがけっこうありまして…母方の曾祖父が、大阪ですと町長をやっていたみたいで。政治にはかなり興味を持ってました。  
藤井 そうだったんですね…！今日は「紛争/戦争」というテーマで、戦いの世界で生き抜いてきた高木さんに「争いを止める方法」をお聞きしたいなど。結びつけ方がやや強引かもしれませんが…。  
高木 いやいや！それこそ、かつてアントニオ猪木さんが「人質になってる日本人を助ける」と言って、クウェートに侵攻して湾岸戦争直前の紛争状態だったイラクに乗り込んだことがあったでしょう。外務省からの「危険だ」という勧告を聞かないで行ったから、相当怒られたらしいんですけど（笑）。

藤井 謎の力ですか。  
高木 なぜかと言うと、プロレスって世界中にあるんですよ。北米やヨーロッパだけと思われがちだけど、南米にも、中国にも、東南アジアにもあります。プロレスがない国を探すほうが難しい。いま、世界的にバズってるのが、東アフリカのウガンダのプロレスなんです。土に杭を打ち立てて、そこに縄張ってリングにしています。ネットで話題になって、世界中の著名なレスラーが行ってるんですよ。日本からも選手が訪れている。  
藤井 紛争のイメージが残るウガンダで、プロレスを通じた国際交流が生まれているんですね。  
高木 猪木さんはめちゃくちゃだなと思うんですけど（笑）、でも、言葉のいらぬプロレスで世界平和を訴えるっていうのはすごく意味があると思うんです。猪木さん



What is "conflict"?

は北朝鮮にもよく行かれてましたよね。  
藤井 信念を行動で示しますね。  
高木 プロレスラーは、下積み時代に遠征や武者修行に行ったりして、意外と海外に触れる機会が多いんです。  
そして、戦ったあとに必ず罵りあうわけではなく、シェイクハンド（握手）することもある。「紛争を止められるか」と言われるとわからないけど、国と国のボーダーを



すね!

高木 ウクライナの現地の言葉で、相当な数のコメントがついている。

大変な状況があるとは思っていますが、そういうときにも、言葉を超えて勇気とか癒やしを発信することができんじゃないか。何かのメッセージを伝えることもできるし、ネットでの発信は大きいと思います。

藤井 あらゆる手法をとってでも、メッセージを届けるべきですよ。

高木 あと、僕の仕事に「マッチメイク」と「スカウト」というものがある。つまり、誰と誰が戦ったら面白いのか？ 誰がプロレスに参戦したら面白いのか？ を考えて、口説くこと。

プロレスの世界にも「裏の政治力」というものがある。アイツは嫌いだ」「アイツとは試合したくない」とそれぞれのワガママを言うレスラーたちを、なんとか口説いていく。

藤井 双方に言い分があり、それぞれの正義もある。背負っているファンやスポンサーもいるなかで、互いを尊重しつつ歩み寄らせるわけですね。

高木 いろんな立場の人の利害関係を調整したり、仲間に巻き込んでいったり…。プロレスは政治的なんですよ。

「スカウト」も同じで、たとえば私は、SKE48の荒井優希さんや、芸能活動をしていた赤井沙希さんを口説いて、プロレスに誘ってきた。

そうそう、元テレビ朝日アナウンサーで自民党の東京都議会議員川松真一朗さんも、スカウトしてプロレスデビューしてもらったんです。私は、プロレスの魅力は「入場8割、試合2割」だと思ってるんですが、入場時のマイクパフォーマンスが完璧だった(笑)。

藤井 物事を進める「場」づくりは政治家の本分かもしれない

### いろんなワガママを調整して マッチメイクする。政治なんです。

### What is "conflict"?



(笑)。たとえば、外交交渉なども、どこでやるのか、誰が出席するのかなど、「場」をどうつくるかが大きな要素。次の一手を考えておくことも必要です…。ルールや公平な環境がそろって初めて、交渉のテーブルにつくことができる。状況を理解し、ときには顔を立てながら、それぞれが成り立つ「治め(おさめ)方」を見出すのが大切ですね。

## なぜ政治家は失言してしまうのですか?

気になる!  
02



吉田真次

場を盛り上げようと思って言ったことが失言となることが多いよう。言葉の選択肢を増やすと同時に**“空気を読む力”**を鍛えておかないといけないと思います。

「空気を読めない」は時として致命傷になる



鈴木貴子

**意見を持ち、表明することを生業としていると、立ち止まる感覚が鈍くなる**のかも。ただ、意見が異なることや、ジェネレーションによる感覚の違いを“失言”と糾弾だけしていても意味がない。何がどう問題なのか、冷静に議論につなげる必要があります。

常に意見を聞かれるゆえの職業病かも



山口 晋

有権者や記者の皆さんの前に行くと、「少しでも多く伝えたい」と、多くを語ってしまう。**お話ししたあとで「言わないほうがよかった」と思うことが多々。**

“気持ちがあふれすぎて…”パターン

# それ、気になる。

## 素朴な疑問をききました

ニュースで、また政治家の失言が報じられていた。国会の映像を見たら、たくさんの大人がヤジを飛ばしまくっていた。普通に学校や会社に行っていたら、なかなか遭遇しないシーンが、政治の現場ではなぜこんなに起きるんでしょうか。自民党青年局の政治家たちに、率直な回答をもらいました。

気になる!

## 01 議員って本当にあんなに必要なんですか?



英利アルフィヤ

**多くの人々をこまやかに代表する**ためには、議員の数が必要になってくると思います。

取りこぼされる人がいてはいけない…とのこと



金子容三

**日本を構成する地域の課題はそれぞれ異なります。**私の選挙区(長崎新3区)は、離島、半島がある地域で、すべての地域の方とお話するのに多大な労力がかかります。相応の人数が必要です。

都会だけではなく、地方には地方の課題があるとのこと



神谷政幸

逆に**少数の意見で国の方針が決まってしまうことの方が私は怖い**です。

たしかに

# 世襲するほど政治家っていい仕事なんですか?

気になる!  
04



川崎ひでと

お金を稼ぎたいなら別の仕事をオススメします(笑)。「誰かを応援したい」「ルールを変えたい」「今のままじゃダメだ!」と思う人が政治家に向いている。世襲が多いのは、こういう**熱い想いを持ったお父さまを見て、憧れる人が多いからかもしれません。**

熱い想いが世襲を生んでいた?



岸信千世

心身ともに大変な仕事だと思います。一度政治家になると、**24時間365日プライベートな時間は一切無くなります。**外国の政治家は「家の扉を開けた瞬間から理想の自分を演じる訓練をする」というぐらいです。

華麗な経歴を持つ岸議員だからこその一言



友納理緒

**男性が多い!** 私は女子高で10割女性のところから、看護師となり9割女性。その後、弁護士となり3割女性。最後は政治家となり…。写真のなかに1人も女性がいなくても“あるある”です。

イメージあります



山本左近

自民党政治家の**真面目さと、幅広さと、エネルギーと、シュさ**と。

いとしさ、せつなさ

# 若者は数が少ないから選挙に行っても無意味説って本当ですか?

気になる!  
03



友納理緒

**そんなことはないですよ。**今は投票率自体が低いので、若者がたくさん選挙に行けば、その声を通る可能性も高まると思います。

そうだと信じたい



越智俊之

若者が選挙に行けば、**“世論”が変わります。**若者を応援する人たちも増えます。これからの未来をつくるのは、皆さん若者です。

投票率が変われば、世の流れが変わり始める…かも

気になる!  
05

# 議員になって一番驚いたことはなんですか?



高見康裕

朝から晩まで、**なかには朝から朝まで**、行動している先輩議員がいること。

おそろしい世界…

気になる!

## 07 政治って お金かかるんですか?



英利アルフィヤ

民主主義とその根幹である選挙という仕組みを維持するために、国民の皆さまに考えや政策を知っていただき、**定期的に交流を持ってその声を国政に届けることが必須**です。これにはコストがかかります。

我々の声を拾うためのコストなんですね



川崎ひでと

私の選挙区は5市あります。それぞれの市に事務所を設置し秘書・事務員を雇わなければなりません。広い選挙区を移動するためには車を使い、経費もかかります。ポスティングや新聞広告で広報などもします。

**ハッキリ言ってかかります。**

「選挙区の移動」が大変という声は多く聞かれました



岸信千世

**日本は諸外国と比べて、公費で負担される部分が少ない。**

公設秘書やスタッフの数、事務所の設置費用など…議員が人件費や活動費を用意する必要があります。

国によって違うという発想はなかった…

気になる!

06

## なぜ政治家は 一生懸命話している人に ヤジを飛ばすのですか?



藤井一博

**やむにやまれぬ思いがつい口をついて出てしまう**のだと思います。拍手が起こることもある、**機知ある一言は議会の華**とも言われます。

火事と喧嘩は江戸の華みたいに



鈴木貴子

建設的な意見にヤジを飛ばす人は少ないはず。

**週刊誌片手の意見、批判のための批判、妄想由来の質問には、「いかがなものか」というヤジがあります。**ただ、ウィットに富み「なるほどお」と言わせるものであるべき。

容認派からも、ユーモアが大事という声が多かったです



高見康裕

**私はヤジは飛ばさない**ですね。3年前まで島根県議会議員だったのですが、そこでは党派関係なくお互いに拍手を送り、ヤジなどは一切なかったので、あまりの違いに驚きました。

島根は皆ジェントルマンらしい。本当ですか?